

## 10月7日 全校朝会の話「燈籠祭」



写真を見てください。これは、浅草燈籠祭の点灯式の写真です。2年生と6年生が作品を出してくれましたが、その点灯式、明かりをつける式に、6年生の2人が参加して、カウントダウンをして明かりをつけました。浅草神社の境内に灯った燈籠がきれいです。



今年の燈籠祭は「スマイル・笑顔」というテーマでみんなが作品を作りましたが、このテーマも、実は千束小学校の6年生が考えてくれたものなのです。みんなが笑顔になってほしいという願いをこめた作品が並んでいました。

燈籠に願いを込めるといって、このようなお祭りもあります。これは、台湾のお祭りで、ランタンという明かりにいろいろな願い事を込めて、空に飛ばします。とても美しく、幻想的です。

また、燈籠祭の他にも、浅草で行われているものがあります。8月に行われる、隅田川とうろう流しです。とうろう流しは、船に乗せたとうろうを流す行事で、これは、亡くなった方の供養として行ったのが始まりと言われています。

これらの行事には、「作った人の願いを込めて」「亡くなった人を供養して」という意味がありますが、もう一つの意味、ここに来てくれた人に喜んでもらう、という意味があります。点灯式にもたくさんの方が来ていました。外国の方も多います。台湾のランタン祭は、日本からも多くの人が見に行きます。灯籠流しも、多くの人が見て、感動しています。

燈籠祭に作品を出した千束小学校の2年生と6年生は、来てくれる人を喜ばせることができ、この地域を盛り上げるのに貢献していると言えます。

燈籠祭で、きれいだなあ、美しいなあ、と感じながら、地域を盛り上げるために、地域を応援するためにがんばる千束小学校、素敵だなあと改めて思いました。

